

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2018-1005	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	試料:なし 情報:心不全及び心房細動の既往歴を持たない対象者の 基本情報、既往歴、血液検査値、ゲノム解析、血液メタボ ローム解析結果	
主たる研究機関	国立循環器病研究センター			分担 研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構 慶應義塾大学医学部	
研究題目	遺伝と代謝情報の融合による循環器疾患の層別化および予後予測法の 開発			研究期間	2018年12月～2023年3月	
実施責任者	高橋 篤	所属	国立循環器病研究センター 病態ゲノム医学部		職位	部長
研究目的と意義	本研究では、心不全および心房細動の患者を対象として、ゲノム解析および血液のメタボローム解析を実施し、臨床 的に意義のある病態の分類や再発などの予後予測に関連するマーカーをバイオバンクに登録された試料を用いて探 索します。					
研究計画概要	本研究において東北メディカル・メガバンク機構からは、国立循環器病研究センター及び慶應義塾大学で解析予定 であるゲノム及び血液メタボローム解析の結果との比較のために、本機構で解析を終了し、情報分譲を予定している約 5,000名、あるいは今後研究機関内に当機構で解析を行い、情報分譲が予定されるゲノム・メタボローム結果等のうち、 対象疾患の既往歴を持たない方のデータをコントロールデータとして提供します。 提供するデータの解析はゲノムデータを関連させるものについてはToMMoスパコン内で行い、研究の結果得られた 情報を双方で共有します。					
期待される成果	本研究により、遺伝・代謝による心不全、心房細動の層別化および予後予測が可能になれば、治療の至適化や患者 のQOL向上につながります。					
これまでの倫理 審査等の経過	2018年7月 国立循環器病研究センター倫理委員会承認(M30-32) 2018年12月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(2018-4-077)					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針、ToMMoセキュリティポリシーの他、 別途締結する研究契約を遵守して研究を遂行します。 提供するデータの解析はゲノムデータを含む場合はToMMoスパコン内で行います。					
その他特記事項	H30年度日本医療研究開発機構(AMED)ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業(GRIFIN)「マルチオミックス連関に よる循環器疾患における次世代型精密医療の実現」(代表:小室一成)の分担課題					

\* 公開日

平成31年1月31日